

2024年度 阿南高専出前講座（第29回，第30回）



エスシー企画株式会社

山 村 猛

Yamamura Takeshi

（建 設 部 門）

1. はじめに

平成22年度に始まった「阿南高専出前講座」も今年で15年目を迎え、30回の節目を迎えることになりました。今年度も高専の要望を受け、4年生が7月はじめに行う「インターンシップ実施直前」の学生への情報提供として「技術士に日常の仕事内容や立場を実際に聞いてみて、自分の進路やインターンシップで学ぶことを考えてみよう。」という目的から、6月下旬から建設コースの3年生，4年生を対象に講座を開催することとなりました。

今回の出前講座は，2日間に分けて開催することとなり，建設コースの3年生で90分，4年生で180分の講座時間を確保することができ，特に4年生については，余裕のある講座運営となりました。

ここに，ご支援をいただいた支援スタッフの皆さまにあらためてお礼を申し上げ，今年度の出前講座の実施報告をいたします。

2. 概要

今年度の出前講座は，阿南高専との1回の事前協議を踏まえて，全2回の出前講座を実施しました。出前講座の実施内容は下表に示すとおりです。

表-2.1：出前講座の実施内容

事前協議				
第1回	日 時	2024年4月23日(火) 13:00 ～ 14:00		
	参加者	事務局2名 (山口委員長, 山村理事)		
	目 的	実施方針, 開催日時, 対象学生等の確認		
出前講座(建設コース4年生)				
第29回	日 時	2024年6月24日(月)	12:50 ～ 16:00	人 員 支援スタッフ 18名
	対 象	建設コース4年生 (19名)		
	主 題	『技術士に日常の仕事内容や立場を実際に聞いてみて、自分の進路や インターンシップで学ぶことを考えてみよう。』		
	実施内容	■ミニ講義「建設業界における私が経験した職場の役割と技術士の立場」: 岡本氏・徳政氏 ■グループワーク(ワールドカフェ方式) ■反省会		
出前講座(建設コース3年生)				
第30回	日 時	2024年7月10日(水)	14:30 ～ 16:00	人 員 支援スタッフ 14名
	対 象	建設コース3年生 (18名)		
	主 題	『建設業界の仕組み、技術士の役割と必要性を理解し、建設業界の職種、自分の進路について考えてみよう。』		
	実施内容	■ミニ講義「私たちが住む徳島県のインフラ」: 石本氏 ■グループワーク ■反省会		
意見交換会				
	日 時	2024年9月7日(土) 18:00 ～ 20:00		
	会 場	徳島駅前バル「Cafe&Bar ドン・ガバチヨ」		
	実施内容	意見交換: 出前講座のあり方について		
	参 加 者	15名(技術士:12名, 高専教官:3名)		

支援スタッフとして、延べ22名の方々にご協力をいただきました。

表-2.2：出前講座支援スタッフ名簿

	NO.	氏 名	所 属	4C講座 (6/24)	3C講座 (7/10)	技術部門ほか
支援 スタッフ	1	アキヅキ ヒトシ 秋月 均詞	(株)エコー建設コンサルタント (徳島県OB)	○	×	建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋) 一級土木施工管理技士、測量士
	2	アマノ トシヒコ 天野 俊彦	(株)エコー建設コンサルタント	○	○	建設部門(道路) RCM、地質調査技士、1級土木施工管理技士、 下水道技術検定2種
	3	ヤマモト ヒデキ 山本 秀樹	エスシー企画(株) (徳島県OB)	○	○	建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋) 一級建築士、測量士
	4	アマノ ヒロシ 天野 大	(株)エフ設計コンサルタント (徳島県OB)	○	○	総合技術監理部門(建設-建設環境) 建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋/建設環境) 上下水道部門(下水道)、環境部門(自然環境保全)、一級建築士
	5	イトガワ ヒロシ 糸田川 廣志	小椋総合コンサルタント(株)	○	○	総合技術監理部門(下水道) 上下水道部門(下水道) 測量士、2級ビオトープ計画管理士(日本生態系協会)
	6	ニキ シン 仁木 伸	技術士事務所NSサポート	○	○	衛生工学部門(廃棄物管理)
	7	イシダ ヒロシ 石田 浩司	徳島県県土整備部付(公財) 徳島県 建設技術センター	○	○	建設部門(道路)
	8	イシモト コウジ 石本 晃士	徳島県 県土整備部 建設管理課	×	○ ミニ講座	建設部門(土質及び基礎)
	9	オカモト マサミ 岡本 雅美	徳島県 農林水産部農山漁村振興課	○ ミニ講座	×	農業部門(農業土木)
	10	タケバシ ショウタロウ 竹林 正太郎	ニタコンサルタント(株)	×	○	建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋) RCM(土質及び基礎、道路) 1級土木施工管理技士
	11	ナカ ヒロユキ 奈加 博之	ニタコンサルタント(株)	○	×	建設部門(道路) RCM(鋼構造及びコンクリート、都市開発、港湾) 測量士、1級土木施工管理技士
	12	フジタ マサト 藤田 真人	ニタコンサルタント(株)	○	○	総合技術監理部門(建設-建設環境) 建設部門(建設環境) 環境部門(環境影響評価)
	13	マツモト コウジ 松本 晃治	ニタコンサルタント(株)	○	×	総合技術監理部門(建設-河川、砂防及び海岸・海洋) 建設部門(河川、砂防及び海岸/港湾及び空港/建設環境) RCM、測量士、1級土木施工管理技士
	14	キヨカゲ ヤスヒロ 清蔭 泰弘	(株)ハマコン	○	○	総合技術監理部門(建設-道路) 建設部門(道路/河川、砂防及び海岸・海洋) RCM(下水道、港湾及び空港、鋼構造及びコンクリート、地質)、1級 土木施工管理技士
	15	ヒラノ ヨシヒサ 平野 嘉久	(株)ファルコン	○	○	総合技術監理部門(建設-土質及び基礎) 建設部門(土質及び基礎) RCM、測量士、1級土木施工管理技士、地質調査技士
	16	オオテラ レイコ 大寺 礼子	(株)フジタ建設コンサルタント	○	×	総合技術監理部門(建設-河川、砂防及び海岸・海洋) 建設部門(河川、砂防及び海岸・海洋)
	17	カガ コウジ 加賀 晃次	(株)フジみらい	○	○	総合技術監理部門(建設-鋼構造及びコンクリート) 建設部門(鋼構造及びコンクリート)、博士(工学)、RCM 測量士、1級土木施工管理技士、1級造園施工管理技士
	18	バンドウ ヨシタカ 坂東 義隆	(株)松本コンサルタント (徳島県OB)	○	○	建設部門(道路) RCM(鋼構造及びコンクリート) 土木学会認定上級技術者(交通)、測量士、1級土木施工管理技士
	19	ミヤズミ カズヒコ 宮住 勝彦	(株)松本コンサルタント	○	○	建設部門(鋼構造及びコンクリート) 一級建築士、コンクリート診断士、コンクリート技士、APECエンジニア 1級建築施工管理技士、ファシリティマネジャー
	20	トクマサ アキヒロ 徳政 明洋	(株)四建	○ ミニ講座	×	建設部門(道路) 1級土木施工管理技士
司会 進行 他	1	ヤマグチ ヒロアキ 山口 博昭	(株)エフ設計コンサルタント	○	○	建設部門(道路)、RCM、測量士
	2	ヤマムラ タケン 山村 猛	エスシー企画(株)	○	○	建設部門(道路/鋼構造及びコンクリート)、博士(工学)、特別上級土木技術 者(交通)、RCM(土質及び基礎、河川砂防及び海岸海洋、港湾及び空 港)、測量士、1級土木施工管理技士
	計			20 名	16 名	

：4C講座カフェマスター

：女性支援スタッフ

3. 出前講座の実施状況

(1) 第29回（4年生対象）

1) プログラム

建設コース4年生（19名）に対する講座プログラムを、以下に示します。

表-3.1：講座プログラム（4年生対象）

スケジュール	内 容	備 考
12:30～12:50 (20分)	■事前打合せ	司会：山村
12:50～12:55 (5分)	■はじめに ・ はじめのあいさつと本日の予定	司会：山村 挨拶：山口
12:55～13:15 (20分)	■ミニ講義 「建設業界における私が経験した職場の役割と技術士の立場」	講師： 徳島県 岡本氏（10分） 株四建 徳政氏（10分）
13:15～15:25 (2時間 10分) 13:15～13:25 (手順説明 10分) 13:25～14:00 (1ラウンド 35分) 14:00～14:10 (休憩・ブレイク 10分) 14:10～14:35 (2ラウンド 25分) 14:35～15:00 (3ラウンド 25分) 15:00～15:25 (4ラウンド・総括 25分)	■グループワーク ・ それぞれのカフェのテーマに沿って、個人の書いたポストイットを元に、みんなで考えて意見交換 ・ 自分の書いたポストイットへの意見やアドバイスは、自分で別のポストイットに記録 ・ カフェマスターは各ラウンドの最初に、得られた内容を整理し、簡潔に訪問者に説明 ・ カフェマスター・訪問役技術士は、主役である学生からの意見がでるよう配慮 ・ カフェの目的は意見交換・情報共有であるため、結論を導くことはしない。なごやかな雰囲気です ※カフェマスターは「発表」する代表学生(1ラウンドのテーブルにいた学生)をグループワーク内で決める	司会：山村 手順説明：大寺 カフェマスター：技術士 6名 カフェ訪問役：技術士 12名
15:25～15:45 (20分)	■発表 ・ カフェの内容についてカフェ代表学生から報告	司会：山村 発表：学生
15:45～15:50 (5分)	■おわりに ・ おわりのあいさつ → 技術士退場	司会：山村 挨拶：山口
15:50～16:00 (10分)	■アンケート（学生）	アンケートは高専対応 (当日に回収)
15:50～16:50 (1時間)	■反省会（技術士、教員・途中参加）	司会：大寺

2) ミニ講義

ミニ講義では、担任の先生からは、「インターンシップに向けての学生への知識や情報提供をお願いしたい。」との要望を受け、今回は複数の業種をご経験され、違いが語ることができる、岡本雅美氏（コンサルタント→徳島県）、徳政明洋氏（国土交通省→ゼネコン）に「建設業界における私が経験した職場の役割と技術士の立場」と題して、「①自身が経験した職場が建設業界の中でどのような役割を担い、その職場の中での技術士立場」「②転職の理由とインターンシップを経験していたら確認してみたかった内容等」について話していただきました。



写真-3.1：岡本雅美氏による講義状況



写真-3.2：徳政明洋氏による講義状況

3) グループワーク

今年度のグループワークでは、昨年度以上にまとまった時間を確保することができたため、ワールドカフェ方式を採用し、事前に担任の先生と決定した「3つのテーマ」について和やかな雰囲気の中で、学生の意見を聞き、意見交換を行いました。特に、今回は、昨年度の反省を踏まえ、分かりやすいテーマによるワールドカフェを行いました。

テーマの設定方法も具体化できたため、昨年度より活発な意見交換ができたのではないかと感じました。

【ワールドカフェのテーマ】

テーマ1：「建設分野の職種」

～希望する就職先のイメージとあっているかを聞いてみよう！～

テーマ2：「インターンシップについて」

～インターンシップで何を学び、確認したいか、みんなと情報共有しよう！～

テーマ3：「もうすぐ社会人となるために」

～阿南高専で学んでいることをどのように生かしてみたいか考えながら、卒業の後の生活をイメージしよう！～

また、グループワークの最後には、各グループ学生に、講座の成果について発表して頂きました。



写真-3.3：グループワークの実施状況

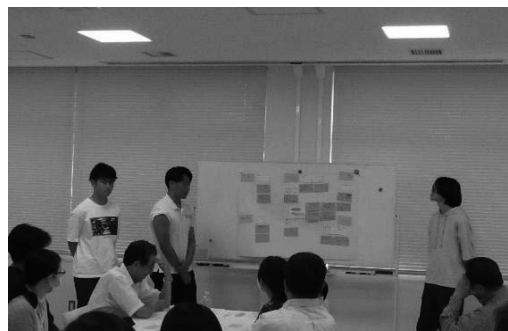


写真-3.4：グループワーク結果発表状況



写真-3.5：第29回 出前講座参加者 集合写真

(2) 第30回（3年生対象）

1) プログラム

建設コース3年生（18名）に対する講座プログラムを、以下に示します。

表-3.2：講座プログラム（3年生対象）

スケジュール	内 容	備 考
14:00～14:30 (30分)	■事前打合わせ	司会：山村
14:30～14:35 (5分)	■はじめに ・ はじめのあいさつと本日の予定	司会：山村 挨拶：山口
14:35～14:50 (15分)	■ミニ講義「私たちが住む徳島県のインフラ」	講師：石本氏
14:50～15:40 (50分)	■グループワーク ・ 個人の書いたポストイットを元に、みんなで「住みたいと思う理想の街」はどのようなものか意見交換してみよう。 ・ 安全で暮らしやすい街に必要な”もの”や”仕事”を整理し、ポストイットに記録・整理し、貼付けよう	司会：山村 グループ進行：技術士 (14名)
15:40～15:50 (10分)	■発表 ・ 学生各自で一言感想等を発表する	司会：山村
15:50～15:55 (5分)	■おわりに ・ おわりのあいさつ → 技術士退場	司会：山村 挨拶：山口
15:55～16:00 (5分)	■アンケート（学生）	アンケートは高専対応 (当日に回収)
15:55～16:55 (1時間)	■反省会（技術士、教員・途中参加）	司会：山村

2) ミニ講義

ミニ講義では、石本晃士氏が「私たちが住む徳島県のインフラ」と題して、講義後のワークグループの題材である「あなたやみんなが住みたいと思う理想の街とは？」の話題提供となるよう、徳島県職員の立場から徳島県のインフラ整備事業について紹介をして頂きました。



写真-3.6：ミニ講義の状況



写真-3.7：石本晃士氏による講義状況

3) グループワーク

グループワークでは、事前に担任の先生との打合せにより決定した班構成、5班（学生3～4人、支援スタッフ2～3名）で学生が事前に準備した「あなたやみんなが住みたいと思う理想の街とは？」に対するイメージに対し、「街に必要な”もの”や”仕事”」を考え、「建設業界がどのように関わっているか」意見を出し合い、建設業界に興味を持ってもらうような内容としました。

今回の講座も昨年度と同様、時間的な制約の関係から、学生が意見に対してじっくり回答が出来るよう、スタッフの入れ替え等は実施しないグループワークとしました。

授業の最後には、各学生に感想等を発表してもらい、講座で得られた意見について自分なりにまとめを行ってもらいました。



写真-3.8：グループワークの実施状況



写真-3.9：グループワークの実施状況



写真-3.10：第30回 出前講座参加者 集合写真

(3) 意見交換会の実施

出前講座実施後、令和6年9月7日に意見交換会を実施し、事前にお送りした質問表をもとに、今年度の出前講座の反省と課題、対応について話し合いました。

4. おわりに

今回で、30回の節目を迎える「阿南高専出前講座」も予定するすべての内容が無事、終了することができました。

来年度、講座開催の機会があれば、学生のニーズにあった適切な時期の出前講座の開催と内容を提供できればと考えております。

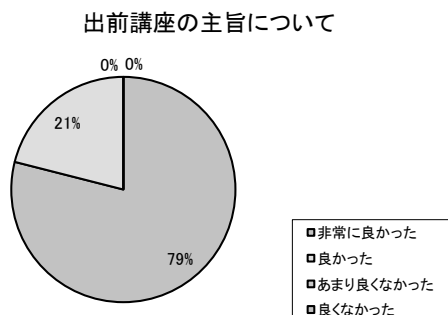
その際には、毎年反省点として挙げられる、支援スタッフへの若手・女性技術士の参加について、事務局側からさらに、積極的に働きかけ改善していきたいと考えております。

【資料 1】 学生アンケート結果

各出前講座の終了後に、学生に行ったアンケートの結果を以下に示します。

(1) 第29回（4年生対象）

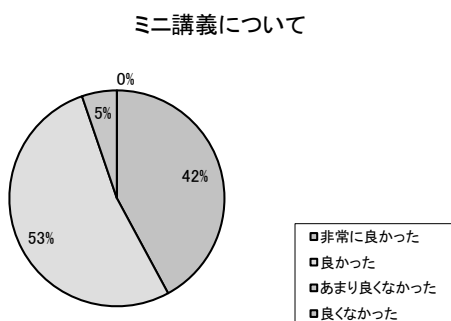
1) 出前講座の主旨について



[意見]

- ・就職や進学で不安なことがあったが、話を聞いてモチベーションになった
- ・不安なことが聞けた
- ・今後のことを考えることにつながった
- ・進路を決めるヒントになった
- ・現実的なアドバイスを頂けて、技術士のリアルを知れて良かった

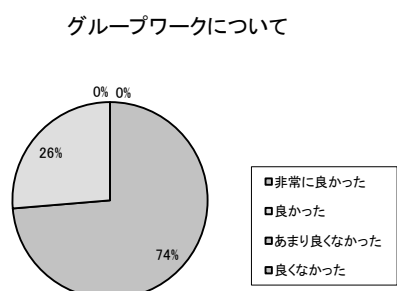
2) ミニ講義について



[意見]

- ・建設業について聞け、良かった
- ・具体的な講師の経歴が参考になった
- ・経験談を聞けたことが参考になった
- ・仕事は変わっても良いという事が知れた
- ・転職した方のお話を聞くことができて良かった
- ・それぞれの分野の業務内容を知ることができた

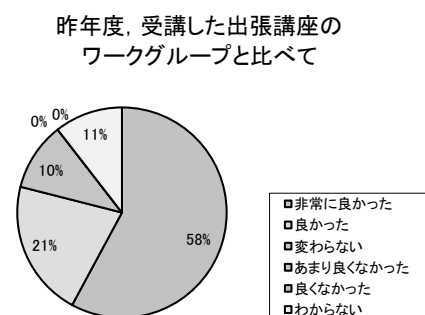
3) グループワークについて



[意見]

- ・みんなの意見が聞けたことがよかった
- ・多くの人と会話する機会が得られた
- ・コミュニケーションをとれたところがよかった
- ・考え方の幅が広がった
- ・気軽に聞けて、答えていただいて、インターンシップへの不安が減った

4) 昨年度、受講した出張講座のグループワークと比べて

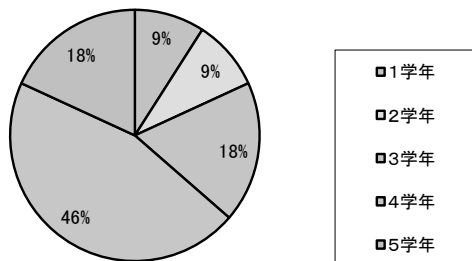


[意見]

- ・進路がそれぞれ迫っている中での質問だったので現実味のある内容を聞けて良かった
- ・昨年度よりも意識高く挑めて良かった
- ・昨年より時間が長かったので、色々知ることができた

5) 開催時期について

開催時期について



[意見]

□ 4 学年と回答した人の意見

- ・就活, 編入前のため
- ・進学, 就職について考えるから
- ・進路について悩んでいる時期だから
- ・インターンシップの参考になるから
- ・インターンシップについてのことが多かったから
- ・明確に進路のことがわかった状態で聞くことができるから

□ 3 学年と回答した人の意見

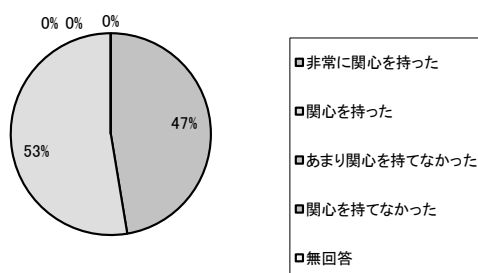
- ・自分の進路を考える時期だから

□ 5 学年と回答した人の意見

- ・ある程度知識がある上でお話を聞けるから
- ・最後までプロの意見が欲しい

6) 技術士資格について

技術士資格について



7) その他の意見・感想・要望

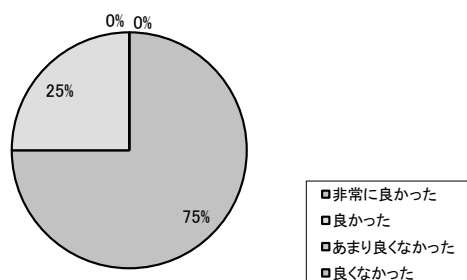
[意見]

- ・昨年度に比べて就職などへの関心を持っていたので, よりよく取り組めた
- ・将来のことについて考える良い機会になった
- ・建築系の技術者をもう少し呼んでほしい
- ・技術士がとれるようになりたい

(2) 第30回 (3 年生対象)

1) 出前講座の主旨について

出前講座の主旨について

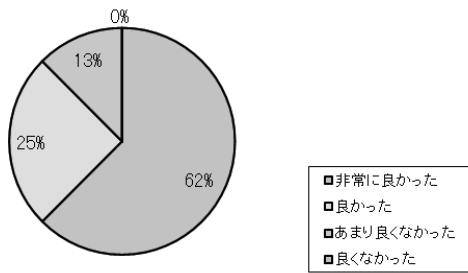


[意見]

- ・建設業界の仕組みについて知れた
- ・自分の進路の幅が広がった
- ・それぞれの職業について授業では学べないことについて知れた
- ・技術士の仕事について少し分かった
- ・技術士と建築士の具体的な違いや技術士の人達がどのような仕事をしているかを知れて良かった

2) ミニ講義について

ミニ講義について

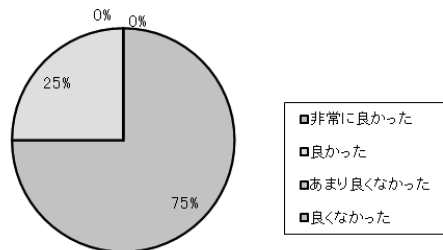


[意見]

- ・自分の知らないことを多く知れた
- ・土木と建築の違いがわかりやすかった
- ・新たな知識を得ることができたから
- ・土木に興味を持てたから
- ・半分くらいわからなかった
- ・かなり専門的で理解するのが難しかった

3) グループワークについて

グループワークについて

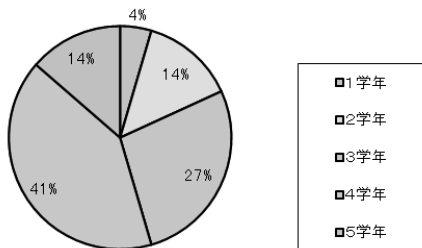


[意見]

- ・たくさんの意見が出せてよかった
- ・他人の意見を聞けた
- ・意見を出し合って、あたらしい考えを知れた
- ・話を聞く経験がととても多く、記憶に残った
- ・意見を出し合って、あたらしい考えを知れた

4) 開催時期について

開催時期について



[意見]

□ 4 学年と回答した人の意見

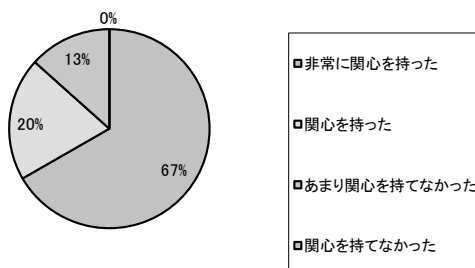
- ・自分の意見を出すということで勉強とはまた違った難しさがあるから
- ・内容が専門的だったから

□ 3 学年と回答した人の意見

- ・建設の勉強が多くなる時期だから
- ・進路を考え始めるから
- ・2年生だとわからないことだらけだと思うから

5) 技術士資格について

技術士資格について



6) その他の意見・感想・要望

[意見]

- ・特になし

【資料2】支援スタッフ及び先生の意見

各講座の後に実施した反省会及び意見交換会で挙げられた意見を次に示します。

表-2.1：反省会のまとめ

項 目	主 な 意 見
グループ分け	・学生の希望分野で分けてみてはどうか ・グループを細分化しても良かった（今回の人数の場合）
運営方法	・ミニ講座4Cは良かった。3Cは盛りだくさんだったかも ・ミニ講座について質問時間があってもよかったのでは ・PCやタブレットがあると話も盛り上がるキッカケになるのでは ・最初から質問をポストイットに書いておくとうい ・学習しているレベルに配慮したテーマにしてはどうか ・女性、若手、などバラエティーに富んだ技術士の参加が望ましい ・2コマなら自己紹介タイム（アイスブレイク）の取り組みも必要かも ・アイスブレイクの時間がもっとあれば、いろいろ話が聞けた気がする
時間	・学生の考え方を聞き出すのに「雑談タイム」を作ってもいいのでは ・質問に答える時間が少なかった。 ・4C出前講座、今回3時間と従前より長く有意義であった。 ・3Cは時間をもう少しとれば、踏み込んだ話合いができたと思われる
質疑応答	・回答は学生に書いてもらう方がいいのでは（マスターは忙しい） - 質問・聞きたいことをさらに準備してもらう ・建築希望の学生へのアドバイスをどうするか ・事前に質問内容を知らせていただければよかった ・将来、自分がどういう方面の仕事につきたいかといった事前質問があってもよいかも

表-2.2：意見交換会で出た意見

課題	対応策
・若手・女性技術士の参加を増やすべき	所属先の協力が必要
・学生ニーズ（建築志望）にあった講座	団体との協働が必要である（香川県技術士会、建築士会、徳島県・・・）
・学生ニーズに応えるための事前情報がほしい	学生への事前アンケートの実施 5Cを対象に追加の出前講座を開催（学生要望を確認中）
・パワーポイントによる技術士の自己紹介をした方がよい ・最後のまとめの時間を長くとり、技術士も意見を述べるようにする	2コマ（180分）の時間確保が必要